

角田市「ウェルビーイング」なまちづくり講座 とりまとめ資料

2026年8月25日

七十七リサーチ & コンサルティング株式会社
調査研究部

〒980-8777
仙台市青葉区中央三丁目3番20号

1. 角田市「ウェルビーイング」なまちづくり講座_開催概要①

本講座には角田市民など11名が集まり、角田市民にとってのウェルビーイングについて議論しました。

1. 開催目的

市民自らが、暮らしやすさや幸福感について話し合う機会を提供することにより、市民が考える角田市の「あるべき姿」に対する意見等を取りまとめ、角田市第6次長期総合計画後期基本計画の各施策の検討に反映させることから、市民向けウェルビーイング講座を開催するもの。

2. 開催日時

令和8年8月1日（土） 13:30～15:30（2時間）

3. 開催場所

角田市市民センター研修棟 202会議室
角田市角田字牛館10

4. 参加者

公募により募集した角田市民など：11名

5. 運営

➤講師

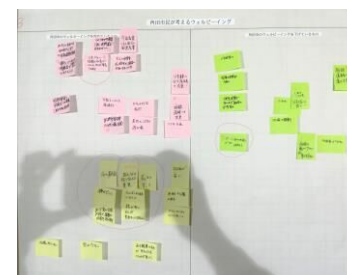
七十七リサーチ&コンサルティング株式会社
調査研究部 首席エコノミスト 田口 庸友

➤ファシリテーター

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社
調査研究部 副部長 主席研究員 木村 暢男

➤司会進行

角田市企画デジタル課



2. 角田市「ウェルビーイング」なまちづくり講座_開催概要②

本講座では、座学形式でのウェルビーイング講義と、角田市民が考えるウェルビーイングについてグループワーク形式での意見交換を実施しました。

6. 実施内容**(1)ウェルビーイング講義**

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社 調査研究部 首席エコノミスト 田口氏を講師として「角田で幸せに暮らし続けるために～ウェルビーイングから考える私たちの未来～」と題した講義を開催

(2)角田市民のウェルビーイングワークショップ

角田市民が考えるウェルビーイングについてグループワーク形式での意見交換を実施
<内容>

- 1.自己紹介と「角田市で暮らしていて幸せだなと思う瞬間」の共有
- 2.個人ワーク（私のためのウェルビーイング）
 - ✓ 1枚の付箋に一つずつ／1人5枚以上／黒のペンで記入
 - ✓ 黄色の付箋「角田市で幸せを感じること」「角田市の良いところ」
 - ✓ 緑色の付箋「困っていること」
 - ✓ 赤色の付箋「あったらもっと幸せになること」
- 3.グループ討議
 - ✓ グループで話し合い、記入した付箋を分類して模造紙にまとめる／同じような内容は集約
 - ✓ 模造紙の左側「角田市のウェルビーイングを高めているもの」
 - ✓ 模造紙の右側「角田市のウェルビーイングを下げているもの」
- 4.優先順位付け
「これからの10年の角田市で最も大切だ」と思う付箋に1人3つまで赤ペンで○をつけ、
○が多い順に上位3つを選択
- 5.発表と共有

3. 角田市「ウェルビーイング」なまちづくり講座_Aグループワークまとめ

Aグループでは、子どものスポーツ環境や自然景観、人の温かさが評価された一方、公共交通の利便性向上や市民が意見交換できる場の充実を求める声があがりました。

★：特に賛同の多かった意見 ●：賛同の多かった意見

Aグループ

「角田市で幸せを感じること」
「角田市の良いところ」

- ✓ ★子どもがスポーツを楽しめる施設がある（Kスポ）
- ✓ ●景色（朝焼け・夕焼け・夜空）
- ✓ ●人の温かさ
- ✓ ●ご近所でのコミュニケーション
- ✓ 市長自ら地域のまちづくりに関わる風通しのよさ
- ✓ 方言が通じる
- ✓ 自然豊か
- ✓ のんびりと暮らせる環境
- ✓ 夜が静か
- ✓ 施設の充実
- ✓ 野菜を安く購入できる
- ✓ 美味しいお米、野菜、果物
- ✓ 地域ならではの人が付き合える
- ✓ 助け合いや「お互いさま」の意識がある

困っていること

- ✓ ★市内外への移動手段が限られている
- ✓ ●「角田市には何もない」という市民の認識
- ✓ ●市を象徴する魅力やコンテンツが明確でない
- ✓ 子どもや若者が遊べる場所が少ない
- ✓ 福祉サービスが少ない
- ✓ 水害への不安
- ✓ 子どもが安心して学べる場所が少ない

「あったらもっと幸せになること」

- ✓ ★利便性の高い路線バス
- ✓ ●様々な立場の市民が対話できる意見交換の場
- ✓ 鉄道
- ✓ 高速道路
- ✓ 関係人口と市民が交流できる場
- ✓ 大型店舗
- ✓ フルーツ狩りを楽しめる体験施設
- ✓ ブックカフェ
- ✓ 市内外から人を呼び込める商業施設

4. 角田市「ウェルビーイング」なまちづくり講座_Bグループワークまとめ

Bグループでは、田園風景や静かで暮らしやすい環境が評価された一方、幹線道路へのアクセス改善や地域人材を生かした学びと交流の場を求める声があがりました。

★：特に賛同の多かった意見 ●：賛同の多かった意見

Bグループ				
「角田市で幸せを感じること」 「角田市の良いところ」		困っていること		「あったらもっと幸せになること」
✓ ★田園風景の美しさ（季節や時間による移り変わり） ✓ 夜の静寂 ✓ 物価の安さ ✓ 無料の公園 ✓ ガソリン代の安さ ✓ 暮らしのちょうどよさ ✓ 降雪の少なさ ✓ 近隣市町へのアクセスのよさ		✓ ★井戸水を利用できない地域がある ✓ ●幹線道路へのアクセスが不便 ✓ 利用できるバス路線が少ない ✓ 電車の運行本数が少ない ✓ 地元出身でない市民が交流関係を築きにくい	✓ 地域組織の役割が分かりにくい ✓ 医療機関が少ない（特に身近な診療所・耳鼻咽喉科） ✓ 人口構成のバランスが悪い	✓ ★地域のOB・OGの経験や知恵を生かした学びの機会 ✓ ●ライフキャリア教育※1 ✓ ●梅干しなどを活用した特産品の開発・発信 ✓ ●語り場※2
				✓ ●幹線道路へのアクセスの充実 ✓ 洪水時に備えた救助・避難用資機材の充実（救命胴衣・救命ボートなど） ✓ 宇宙産業、関連産業の振興 ✓ カフェ ✓ 子どもの屋内遊び場 ✓ エコな交通手段

※1 参考有識者：東京大学名誉教授 牧野篤氏

※2 参考事例：島根県益田市の益田市社会教育プロジェクト

5. 角田市「ウェルビーイング」なまちづくり講座_Cグループワークまとめ

Cグループでは、地域の人同士のつながりや地域への愛着が評価された一方、空き家の活用や医療・子育て関連施設の充実を求める声があがりました。

★：特に賛同の多かった意見 ●：賛同の多かった意見

Cグループ

「角田市で幸せを感じること」
「角田市の良いところ」

- ✓ ★盛んな農業
- ✓ ★地域の人同士の強いつながり
- ✓ ●地元への愛着の強さ
- ✓ ●自然の景色
- ✓ ●おいしい飲食店の多さ
- ✓ ●市民のことを考えている市長
- ✓ ●角田市にゆかりのある著名人の活躍（斉藤ブラザース）
- ✓ スポーツ施設
- ✓ ガソリン代の安さ
- ✓ イベントの多さ
- ✓ 阿武隈急行の駅員さんの優しさ
- ✓ 自宅でBBQができる環境
- ✓ 生活用品の充実
- ✓ 人のよさ（笑顔で挨拶する人、控えめで優しい人が多い）

困っていること

- ✓ 車がないと移動しにくい
- ✓ 電車の運行本数が少ない
- ✓ 阿武隈急行の運賃の高さ
- ✓ 通学路の見通しの悪さ
- ✓ 空き家の多さ
- ✓ 薬局が多すぎる
- ✓ 若者が遊べる場所が少なく、仙台まで行く必要がある
- ✓ 子どもの屋内遊び場が少ない
- ✓ 草刈りの大変さ
- ✓ 猫のふん尿被害（野良猫・屋外で飼育されている猫）
- ✓ 県外の友人との会いづらさ

「あったらもっと幸せになること」

- ✓ ★空き家を活用する仕組み
- ✓ ●産婦人科・小児科の充実
- ✓ 大規模な書店
- ✓ 子どもの屋内遊び場
- ✓ カフェ
- ✓ コストコ
- ✓ 市内外から人を呼び込めるイベント
- ✓ スペイクリニック（猫の不妊・去勢手術を専門に行う施設）
- ✓ 温浴施設（特にウエルパークかくだ「椿の湯」の営業時間延長）

77 七十七リサーチ&
R&C コンサルティング